

自然に囲まれた地域を生かした街づくり

1.はじめに

シラス台地の住宅団地

私の住む鹿児島市は、猫の額ほどの平地と周縁を急崖に囲まれた比高 100m 程度のシラス台地からなっています。鹿児島市は錦江湾に面しており、その海から見た市内の様子は、狭小でこの街に人口 50 万人を越す人達が住んでいるとは想像しがたい状況であります。ところが、飛行機に乗って上空から見ると、全体が平地に見えて、町並みが大きく広がっていることに気がつきます。

実際、私自身も団地に住んでいますが、団地の中は平坦とは言いがたい状況で坂道が多く、自転車での行き来は、元気のいい男子中高生のみが可能な状況です。また、周縁は急崖のためか、団地外への行き来は、メインストリートが一団地につき 1~2 本程度あるのみで、あとは地元住民のみ知っている元来里道を局部的に改良した急坂のコンクリート舗装の道路があるのみです。しかし、周縁およびその周囲の低地には農村が広がり豊かな自然を我々に与えてくれています。

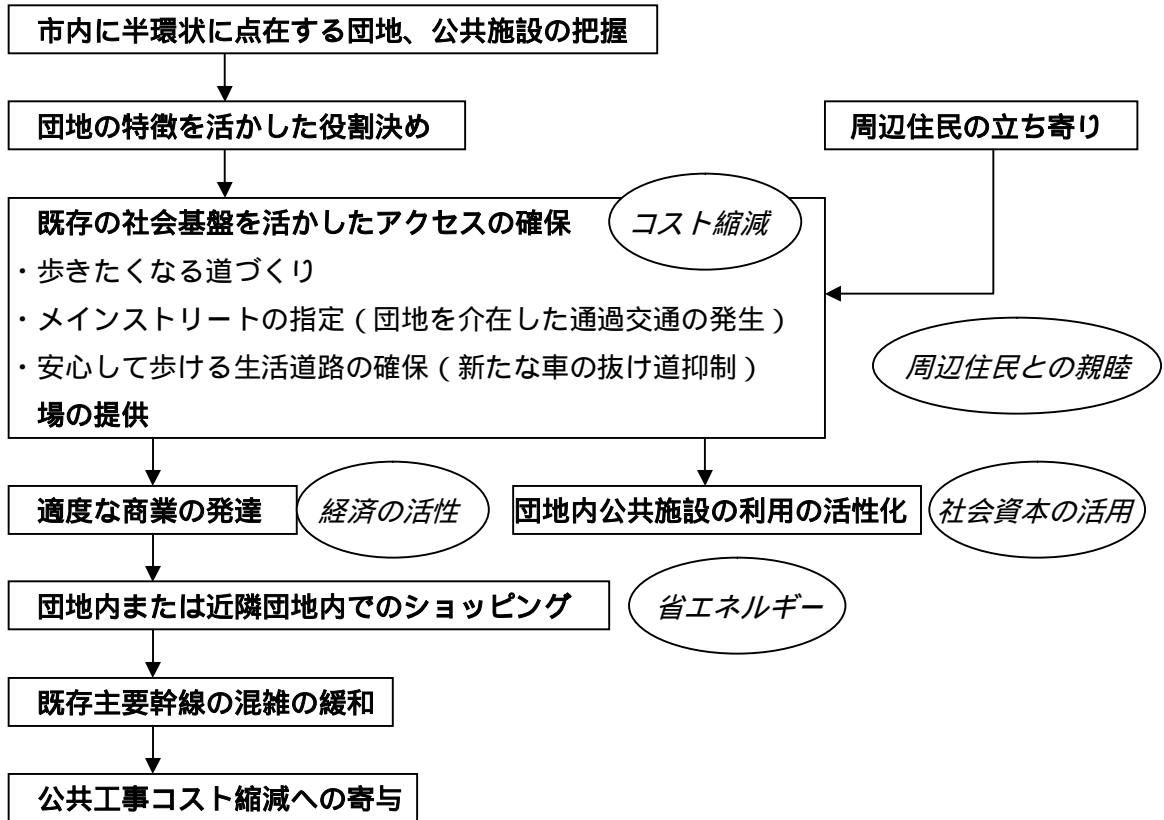
団地の短所

- ・坂道が多く、交通弱者にとって移動がままならない。
- ・メインストリートは、市の中心地のみを向いたものとなっており、隣の団地およびすぐ近くの公共施設へ向いたものとなっていない。つまり、横へのつながりが無いものとなっていて不便を感じる。
- ・先祖代々地域に住まわれている人々との交流が薄い。その結果、地域の由来をよく知らない状況となっている。
- ・団地へのアクセスが増えたことによって、自動車の排気ガス、ゴミ投棄等の周囲環境へ悪影響を及ぼしている。

団地の長所

- ・坂道が多く、平坦地を歩くより体が鍛えられる。(実際、団地の外周および幹線道路を朝夕散歩している人々が多い。)
- ・郊外にあり、静かで、周辺の緑のため空気がおいしく感じる。
- ・自宅あるいは団地内の高台等から市中心部の夜景が楽しめる。また、住宅地であることから、夜間の暗さが確保でき、比較的、星の観察に適している。
- ・身近に自然があるため、容易に動植物に触れることができる。

2.街づくりのイメージ



効果

上図にも示してありますが。

- ・身近な場で余暇を過ごせる（過ごしたくなる）。
- ・コスト縮減、省エネルギーに寄与する。
- ・地元住民同士の親睦が図れる。

等々、微力ながら、団地のみならず、地域全体の活性につながるのではないかと思います。多くの問題を抱えているとは思いますが、住民の合意形成も重要と思います。